チーム美らサンゴ
2011年報告

沖縄サンゴ礁・保全活動報告

沖縄タイムス社・沖縄電力・オリオンビール

海邦銀行・琉球放送

ANA・YAMAHA・Isamu・mic21・月刊ダイバー
ハチオウ・PADIジャパン

2011年の参加状況

チーム美らサンゴは、2004年（平成16年）より活動を開始し、今年で8年目となります。これまでに、1,844名が参加し、サンゴの植え付け活動を行ってきました。

2011年は、参加者159名で374本を植えつけました。

表1．チーム美らサンゴ　植え付け参加状況

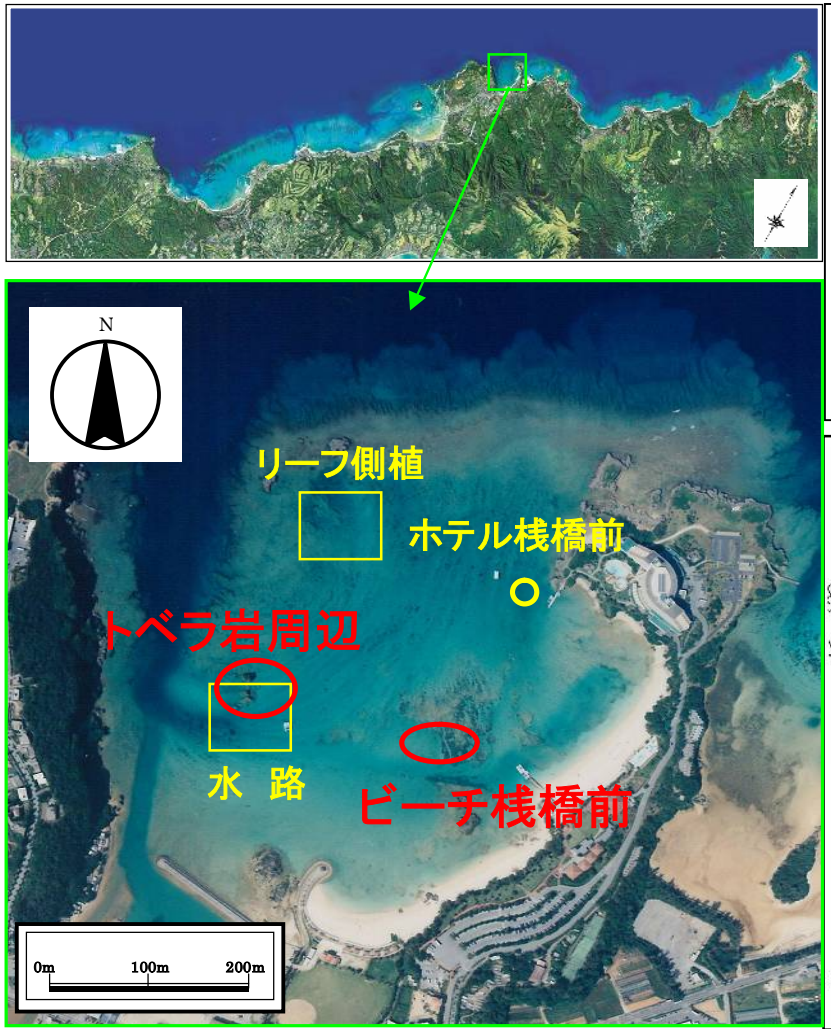
年	参加者	ダイバー	ノンダイバー等
平成16年（2004）	252	252	
平成17年（2005）	154	154	
平成18年（2006）	224	188	36
平成19年（2007）	379	285	94
平成20年（2008）	232	190	42
平成21年（2009）	159	95	64
平成22年（2010）	285	107	178
平成23年（2011）	159	124	35
計	1,844	1,395	449

表2．2011年の植え付け状況（合計）

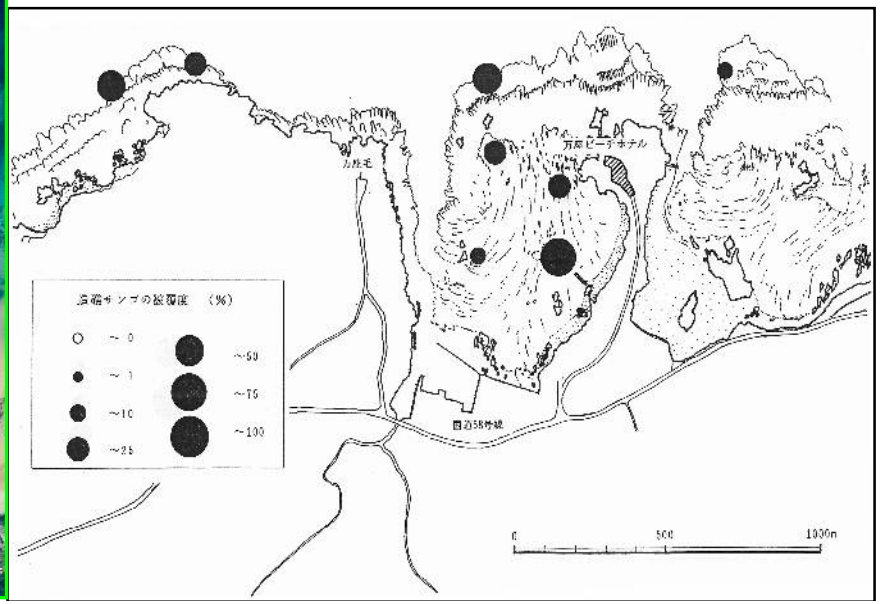
対象者	参加者	本数	植え付け場所
ダイバー	124	246	トベラ岩、ビーチ桟橋前
ノンダイバー	35	56	トベラ岩
地元		72	植え替え
	159	374	

植え付け場所

2010年からは、サンゴ養殖場に近いトベラ岩周辺と平成4年当時に、最もサンゴ被度が高いビーチ桟橋前で植え付けを行っています。



サンゴ被度とは、真上から見たとき、生きたサンゴがどれぐらい海底を覆っているかを面積割合（%）で示したものです。平成4年の調査結果では、ビーチ桟橋前が最も高い値となっています。



2011年春の観察状況

2010年12月の生存数は、477群体でした。植え付け数は、331群体で春のツアーで109群体、ノンダイバー分で222群体でした。また、地元で、３月と5月に22群体を取り替えました。

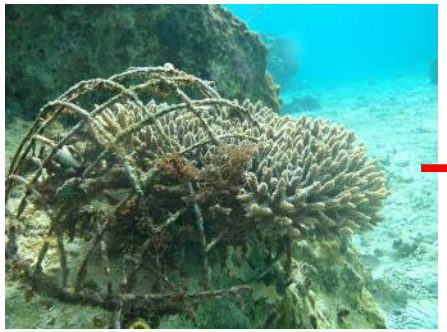
７月10日の観察では、620群体の生存を確認しました。生存率は、ビーチ桟橋、トベラ岩北、トベラ岩南の順でした。死亡の原因は、主にオニヒトデによる食害です。

表３．2011年7月の状況

場　所	22.12.10調査			3月、5月	11.7.10調査		生存率
	生存	死亡	植え付け	取替え	生存	死亡	
ビーチ桟橋	163	14	115	21	285	7	98%
トベラ岩（北）	103		186		232	57	80%
トベラ岩（南）	211	1	30	1	103	139	43%
	477	15	331		620	203	75%

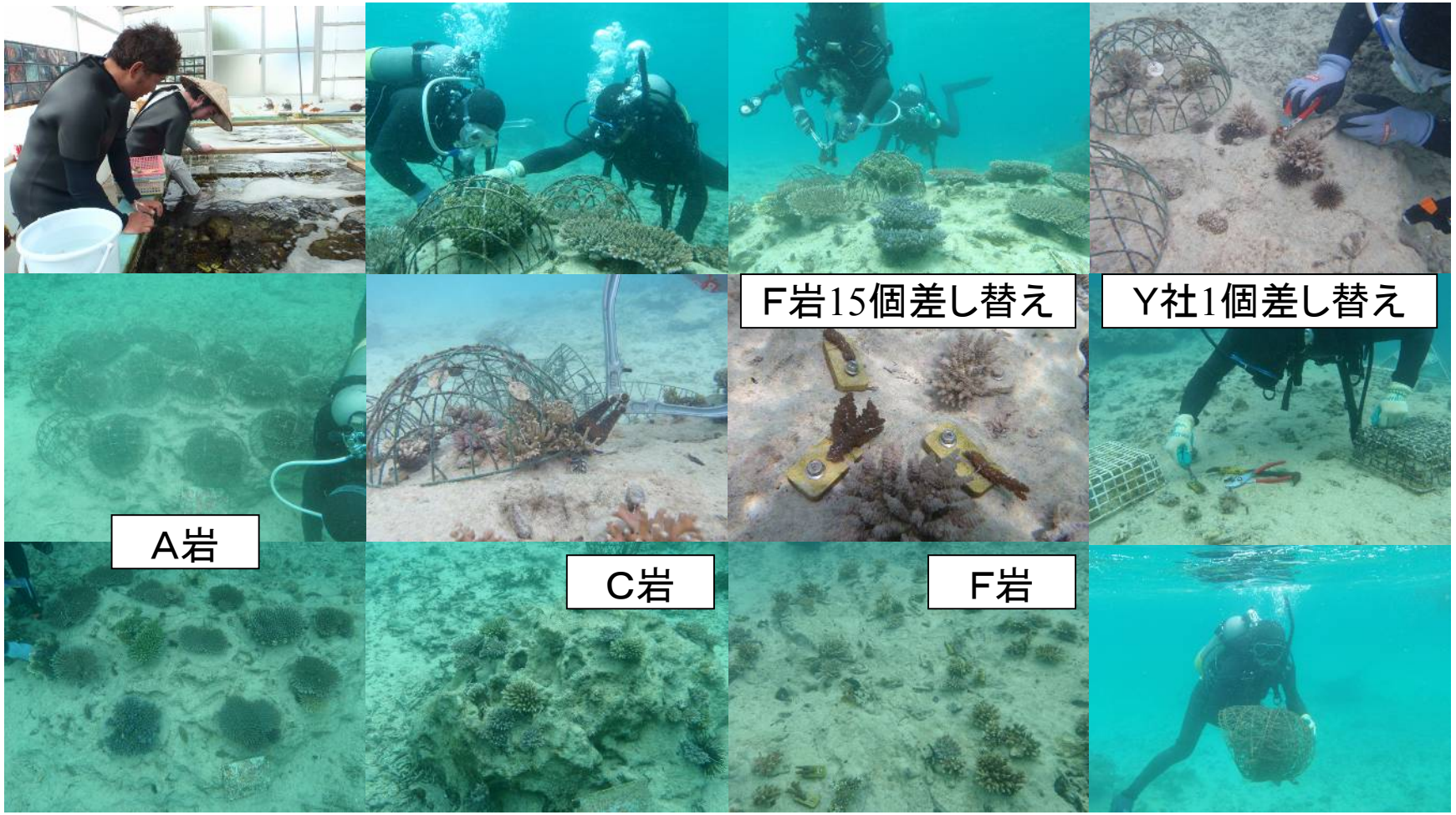
2011年1月19日保護カゴの取り外し

2009年（平成21年）に植え付けたサンゴの保護カゴを外しました。



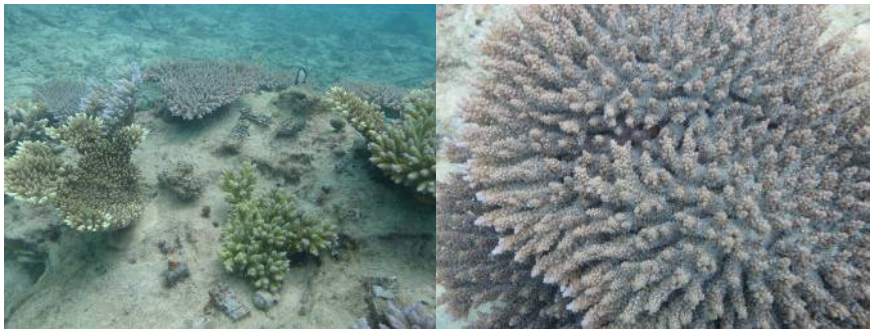
2011年3月19日サンゴの差し替え

2010年（平成22年）に植え付けた、トベラ岩南側のA岩、C岩、ビーチ桟橋前のF岩の保護カゴを取り外しました。そのうち、2010年秋に植えつけたF岩で15個、トベラ岩南のY社記念岩で1個を差し替えました。5月18日にはD岩で6個を差し替えました。



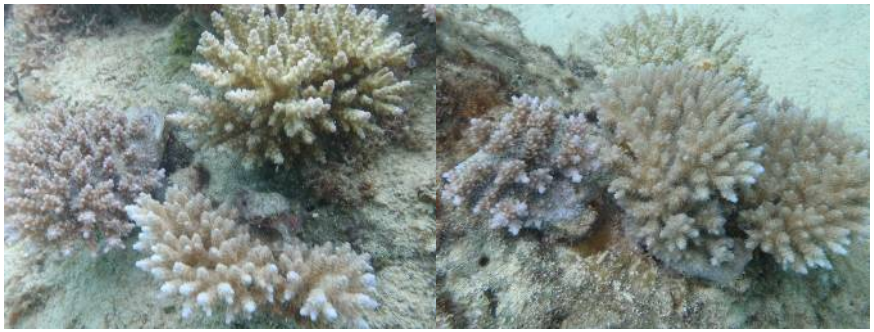
2011年5月18日観察

2010年（平成22年）春に植え付けたトベラ岩南のA岩



2010年（平成22年）春に植え付けたビーチ桟橋前F岩、差し替えた物(右)

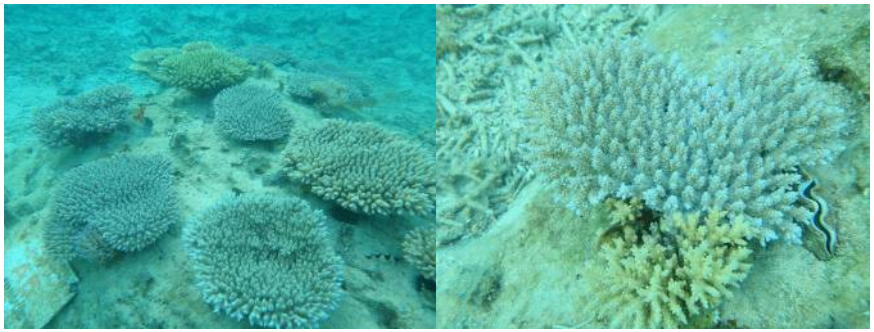
2010年（平成22年）春に植え付けたトベラ岩南のC岩



2010年（平成22年）秋に植え付け（左）とサンゴ祭りのサンゴ（右）

2011年7月10日観察　その1

2010年の春に植え付けたトベラ岩南のA岩、融合により数が減少33群体



2010年の春に植えビーチ桟橋前F岩、魚による食害（右）　74群体

2010年（平成22年）春に植え付けたトベラ岩南のC岩　34群体

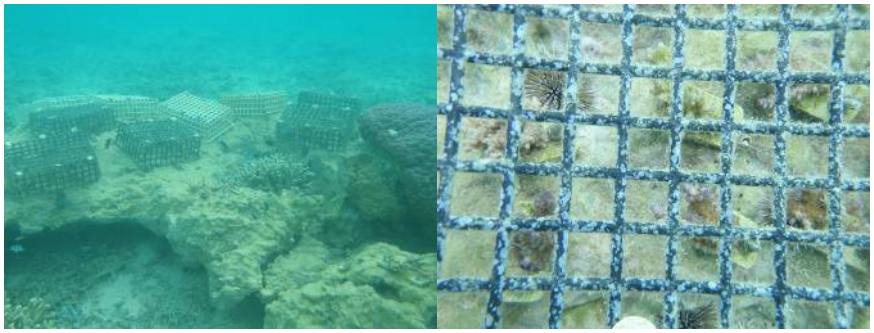
2010年（平成22年）秋に植え付けたビーチ桟橋前のD岩　96群体

2011年7月10日観察　その2

2010年（平成22年）秋に植え付けたトベラ岩北側のJ社岩　80群体

2010年（平成22年）秋に植え付けたトベラ岩南側のY社岩　36群体

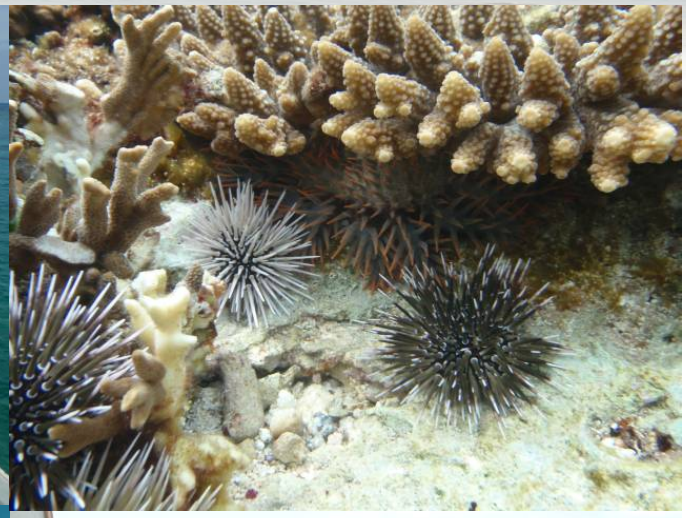
2010年（平成22年）秋のノンダイバー分ビーチ桟橋前　115群体



2011年（平成23年）春に植え付けたトベラ岩北側の岩　106群体

2011年オニヒトデ除去

植え付け周辺海域では、定期的にオニヒトデ除去を行っています。



2011年秋の観察状況

2011年7月の生存数は、620群体でした。植え付け数は、春のツアーで175群体（ノンダイバー含む）となりました。

12月19日の観察では、527群体の生存を確認しました。生存率は、平均66%で場所による違いは少ない状況でした。死亡の原因は、夏場の白化現象と台風時の転石による破損、オニヒトデによる食害です。

表4．2011年12月の状況

場　所	11.7.10調査				11.12.19調査		生存率
	生存	死亡	植え付け	取替え	生存	死亡	
ビーチ桟橋	285	7			173	112	61%
トベラ岩（北）	232	57			143	89	62%
トベラ岩（南）	103	139	175		211	67	76%
	620	203	175		527	268	66%

2010年植え付けの成長

2010年に植付けたサンゴは、2011年7月に生存率70%で、12月には生存率48%となりました。2010年の春植えは、夏を2回乗り越えているので、安定した成長を行っています。

表5. 2010年植え付けの生存率の推移

	2010年秋	2011年夏	2011年秋
2010年植え付け本数	492	342	235
生存率	100%	70%	48%

2010年6月23日撮影

2011年12月19日撮影

2011年12月サンゴの差し替え

2011年にトベラ岩の南側に植えつけたサンゴの内、50個体が死滅したので、差し替えを行いました。

2012年の予定

1．定期的にオニヒトデ除去を行い、食害を防ぎます。

2．スズメダイが住み込み、ブダイ等のサンゴを食べる魚による食害の心配が無くなったものから、保護カゴを外します。

3．死亡したサンゴは、取替えを行い、早めに群集を作ります。